

あすなろ薬局だより



冬場に流行する感染症について

2015.11

空気が乾燥する冬場になると「インフルエンザ」以外にも様々なウイルス感染症が流行します。以下に代表的な感染症をご紹介します。

ノロウイルス感染症

ノロウイルスは、一般には、牡蠣などの二枚貝を原因とする「食中毒」の原因ウイルスとして注目されていますが最近ではヒトからヒトへの感染や汚染された器具が原因で感染する「感染症」としても重要視されています。

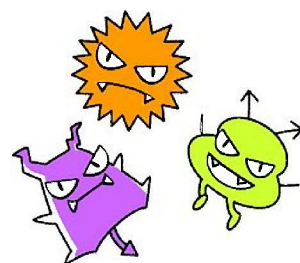
主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛です。突然、吐き気や嘔吐を発症し、続いて下痢・腹痛が起こってくるのが特徴です。まれに発熱を伴うこともあります。

体力の弱い乳幼児や高齢者などでは、下痢による脱水症や合併症により重症化することがあります。

ロタウイルス感染症

ロタウイルス感染症は乳幼児に発症する急性胃腸炎です。この感染症は5歳までにほとんどの小児が経験します。

主な症状は、嘔吐、下痢、発熱です。発熱と嘔吐で発症し続いて頻回の下痢がみられます。下痢の程度はウイルス性の中では一番重くまた米のとぎ汁のような白色の下痢便が特徴です。大量の水様性下痢のため乳幼児では脱水に陥りやすく注意が必要です。



★ノロウイルス、ロタウイルス感染症では汚物等の処理後、消毒が必須です。塩素系消毒薬(ハイターなど)を使用して適切に殺菌してください。

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は乳幼児に発症する代表的な呼吸器疾患です。

主な症状は軽い「鼻かぜ」程度ですむ場合から細気管支炎や肺炎に至るまで症状は様々です。ほとんどの場合、1～2週間で徐々に回復しますが、重症例では、呼吸困難などのために入院が必要となる場合もあります。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌感染症)は、小児に多い急性の咽頭炎です。

咽頭炎だけでなく、膿痂疹(とびひ)、中耳炎、肺炎、髄膜炎、敗血症などの原因にもなります。主な症状は突然の発熱、のどの痛み、全身の倦怠感、吐き気や嘔吐を伴うこともあります。

ウイルスによる感染症では病気を治す特効薬はありません。感染を予防することが第一です。

日頃から「手洗い」と「うがい」を励行しましょう。 参考：大阪市ホームページ

お近くのあすなろ薬局にご相談ください。

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。(お薬によっては時間がかかることがあります)

薬・健康食品・サプリメント等についてのご相談を受け付けています。

(甲府)055-228-4024 (巨摩)055-283-3050 (石和)055-263-1568 (武川)0551-26-3800 (大月)0554-20-1301